

皆さん、こんにちは。市長の栗山です。

このたびは、令和6年度の浅口市の施政方針について、主なものをご説明いたします。

まず、はじめに、省電力広域通信網、LPWA整備事業についてであります。

「スマートシティあさくち」の取組として、市内に省電力の広域通信網、LPWAの整備を計画しております。この通信網を活用し、より安全で安心な生活環境の構築を進めてまいりたいと考えております。

具体的には、河川やため池に水位センサを設置し、水位データの常時監視を可能とすることで、豪雨時の現地の状況確認作業の軽減や、迅速な避難指示等の発令につなげ、防災減災対策の強化を図ってまいります。

また、イノシシなど野生動物による被害防止策として、捕獲用罠が作動したことを通知するセンサを設置し、狩猟者の見回りにかける時間や負担を軽減し、より効率的な有害鳥獣対策を進めてまいります。

さらに、市内の小中学校をはじめ、市の屋内外の運動場や公園などの公共施設へ、湿温度センサを設置し、湿度や温度をリアルタイムで監視し、効果的な熱中症対策につなげ、施設利用者の安全確保を図ります。

今後は、子どもや高齢者の見守りなどの福祉分野や、地域公共交通の

分野への活用も検討し、様々な分野において市民サービスの向上につなげてまいります。

次に、水道料金の改定及び南海トラフ地震等に備えた施設の更新についてであります。

本市水道事業は、市民の皆様将来にわたり「安心・安全な水」を安定して届け続けるため、水道料金の適正な見直しに向けた検討を進めてまいりました。

このたび、有識者で構成する浅口市水道事業運営審議会の答申を踏まえた議案を、3月議会にて承認いただき、水道料金の改定を行います。

改定日は令和6年6月1日からで、請求月としては8月から、そして、改定率を16%といたします。3～4人世帯の一般的な家庭で、月に20m³使用した場合の料金として、ひと月あたり約510円上がります。

なお、急激な負担増による市民生活や、企業活動への影響に配慮するため、国の物価高騰対策交付金を活用し、令和6年6月から令和7年3月使用分までは、改定率を16%ではなく、実質8%に抑える経過措置を設けます。先程と同様3～4人の一般的な家庭で、月に20m³使用した場合、ひと月あたり250円程度の値上がりに抑えられます。

また、能登半島地震で水道網は壊滅的な損傷を受け、広範囲で断水が

続き、復旧まで相当な時間を要することが見込まれています。断水の要因として、水道管の老朽化や耐震化の遅れが挙げられております。

一方で耐震化の完了した水道管からは漏水事故は発生していなかったとの報告もされております。

私たちは、朝起きてから、夜寝るまで、「蛇口をひねれば水が出る」このことが当たり前の生活を送っています。能登半島地震をきっかけに、私たちの地域でも、「当たり前」ではなくなるかもしれない現実があることを再認識いたしました。

こうしたことから本市では、令和6年度から老朽化が進む施設の更新や、近い将来発生が予想されている南海トラフ地震に備えた耐震化に本格的に着手いたします。総工費は総額で約350億円との試算であります。令和6年度は事業費3億7千万円余を計上し、今後10年間で総額約35億円の事業費を計画しています。

本市水道事業は、新市になって以降約18年間、一度も水道料金を値上げすることなく事業運営を行ってまいりました。

しかしながら、人口減少などから料金収入が減少する一方、施設の更新に多額の費用が必要になるという状況を踏まえると、将来世代に負担を先送りすることなく、持続可能な事業運営を行うためには、水道料金

を改定させていただくことが必要であるとの判断に至りました。まさに、苦渋の決断であります。

昨今の厳しい経済状況の中ですが、水道事業の健全な経営の確保のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、組織再編、及びあさくち遠隔相談窓口の設置についてであります。

4月1日から両総合支所の産業建設課を、産業建設部と上下水道部の各課へ集約し、産業建設部を現在の分庁舎へ配置するとともに、上下水道部を金光総合支所へ配置いたしました。

また、組織再編後も市民サービスの低下を招かないよう、市役所の市民課、及び金光総合支所と寄島総合支所に「あさくち遠隔相談窓口」を設置いたしました。これは、遠隔相談窓口と本庁機能を持つ各課をモニターでつなぎ、市民の皆様にも移動を強いることなく、行政相談や手続きが可能となるものであります。

総合支所へお越しになった方でも、専門的な知識を有する本庁職員の顔を見て相談することができるのはもちろんのこと、例えば、死亡届や転入転出届など、戸籍に関する届け出にいられた市民が、施設間を移動することなく、遠隔相談窓口を通じて1か所で相談・確認・手続きを行

うことが可能となります。

今後もデジタル技術を活用し、利便性向上に努めてまいります。

これからも、“持続可能な浅口市”、“楽しい浅口市”の実現のため、何よりも市民皆様の幸せのために、積極的に皆様方のお声を聞かせていただきながら、全力で取り組んでまいります。

ご清聴ありがとうございました。